

滝沢村まちづくり基本方針アンケート調査

報告書（概要版）

平成25年 2月

滝沢村都市整備部 都市計画課

◆目次◆

1. 調査概要	1
2. 調査結果	3
●あなたご自身のことについて	
(1) 性別	3
(2) 年代	3
(3) お住まいの自治会	4
(4) 滝沢に住んでいる期間	4
(5) 滝沢村に住むこととなったきっかけ	5
(6) これからも滝沢村に住み続けたいか	5
●あなたの普段の生活について	
(7) 通勤先・通学先、交通手段	6
(8) ア 食料品や日用雑貨などの買い物の行き先、交通手段	6
イ 外出着や贈答品などの買い物の行き先、交通手段	7
ウ 休日の遊びや外出の行き先、交通手段	7
エ 病院、医院など医者にかかるときの行き先、交通手段	8
オ 生涯スポーツや文化活動、スポーツ活動、習い事などの行き先、交通手段	8
●これからの滝沢村の都市づくり・まちづくり・地域づくりについて	
(9) 市街地や住宅地の拡大についての考え	9
(10) 農地や緑地の宅地化の制限、建設できる建物の種類や大きさ、建物の高さに対する ルールを設定することについての考え	9
(11) 住宅地の整備・確保に関して重要と思われること	10
(12) 農村地域や農地・山林について重要と思われること	10
(13) 工場や工業用地のあり方についての考え	11
(14) 今後の村内の商業地や商業施設のあり方についての考え	11
(15) 幹線道路沿いに整備される大型スーパーやホームセンターなどについての考え	12
●将来の滝沢村の暮らしやまちづくりへの参加について	
(16) おおむね10～20年後を想定して最も暮らしたいまち	12
(17) 滝沢村の都市づくり・まちづくり・地域づくりを進めるために取り組めること	13
●滝沢村らしい地域資源について	
(18) 自慢できるものと具体的な理由	13
3. 考察	15

◆調査概要◆

1. 調査の目的

「滝沢村まちづくり基本方針」を策定するため、村民に対して、村の現状に対する意向や、将来の都市づくり・生活像に対する考えなどを調査することを目的としています。

2. 調査項目

- あなたご自身のことについて
 - (1) 性別
 - (2) 年代
 - (3) お住まいの自治会
 - (4) 滝沢村に住んでいる期間
 - (5) 滝沢村に住むこととなったきっかけ
 - (6) これからも滝沢村に住み続けたいか
- あなたの普段の生活について
 - (7) 通勤先・通学先、交通手段
 - (8) ア 食料品や日用雑貨などの買い物の行き先、交通手段
 - イ 外出着や贈答品などの買い物の行き先、交通手段
 - ウ 休日の遊びや外出の行き先、交通手段
 - エ 病院、医院など医者にかかるときの行き先、交通手段
 - オ 生涯スポーツや文化活動、スポーツ活動、習い事などの行き先、交通手段
- これからの滝沢村の都市づくり・まちづくり・地域づくりについて
 - (9) 市街地や住宅地の拡大についての考え
 - (10) 農地や緑地の宅地化の制限、建設できる建物の種類や大きさ、建物の高さに対するルールを設定することについての考え
 - (11) 住宅地の整備・確保に関して重要と思われること
 - (12) 農村地域や農地・山林について重要と思われること
 - (13) 工場や工業用地のあり方についての考え
 - (14) 今後の村内の商業地や商業施設のあり方についての考え
 - (15) 幹線道路沿いに整備される大型スーパーやホームセンターなどについての考え
- 将来の滝沢村の暮らしやまちづくりへの参加について
 - (16) おおむね10～20年後を想定して最も暮らしたいまち
 - (17) 滝沢村の都市づくり・まちづくり・地域づくりを進めるために取り組めること
- 滝沢村らしい地域資源について
 - (18) 自慢できるものと具体的な理由
- 自由意見

3. 調査対象

- (1) 母集団 満18歳以上の村民（平成24年8月31日現在）
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 抽出方法 無作為抽出（地区、性別、年齢について考慮）

4. 調査期間

平成24年10月22日（月）から平成24年11月7日（水）まで

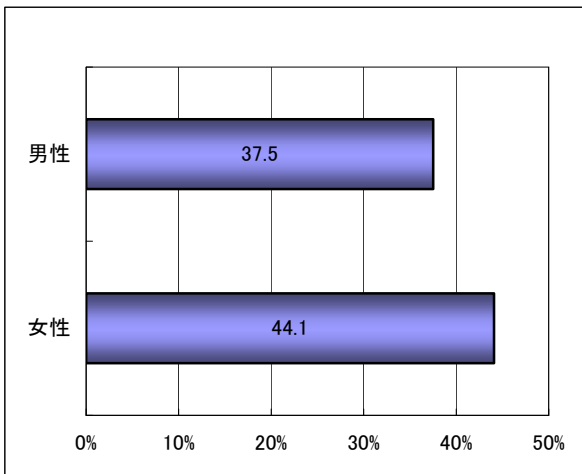
5. 調査方法

郵便による（配布及び回収）

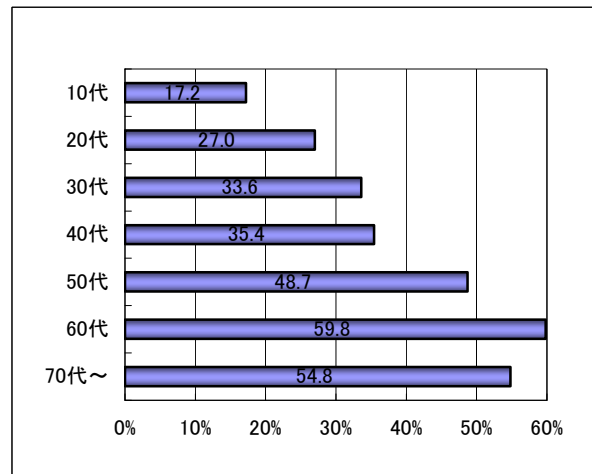
6. 回答結果

回答数 1,280（42.7%）

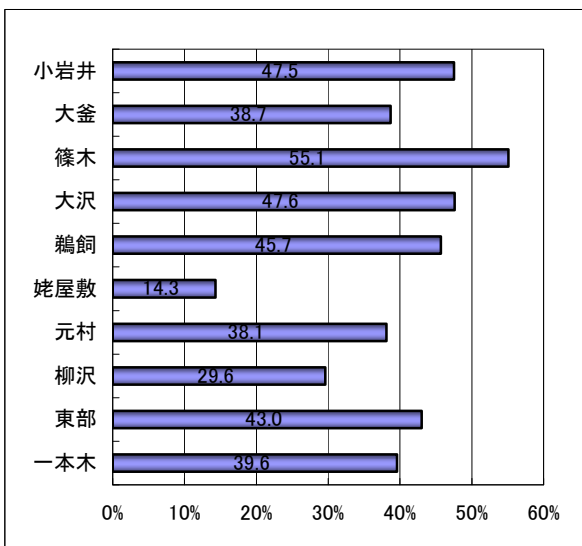
・男女別回答率



・年代別回答率



・地域別回答率（自治会区分を10地区に統合しています。）

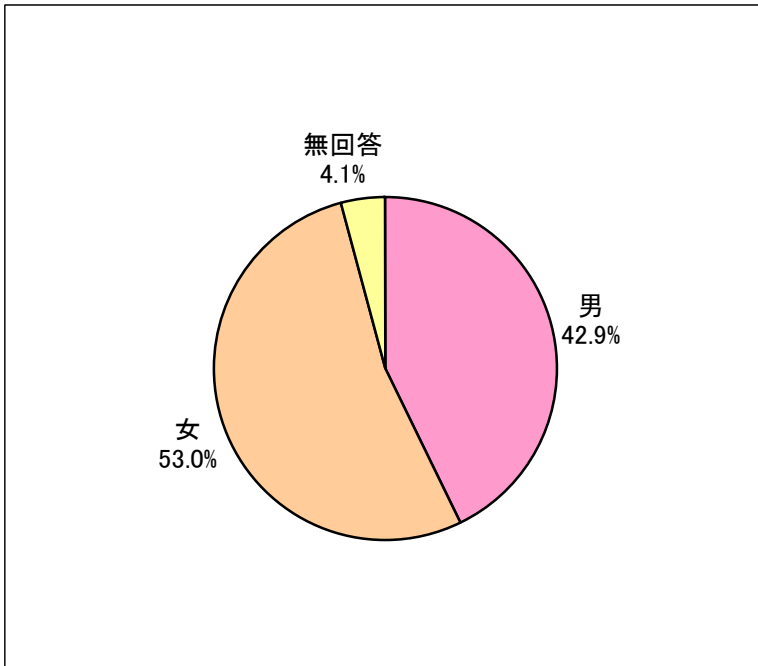


本調査報告での区分	自治会区分
小岩井	小岩井
大釜	大釜上、大釜南
篠木	篠木
大沢	大沢
鶴飼	鶴飼南、鶴飼西、鶴飼温泉、滝沢ニュータウン
姥屋敷	姥屋敷
元村	元村南、室小路、国分、元村中央、法誓寺、元村東、元村西、元村北、あすみ野
柳沢	柳沢
東部	巣子、南巣子、長根、川前
一本木	南一本木、北一本木、いずみ巣子ニュータウン

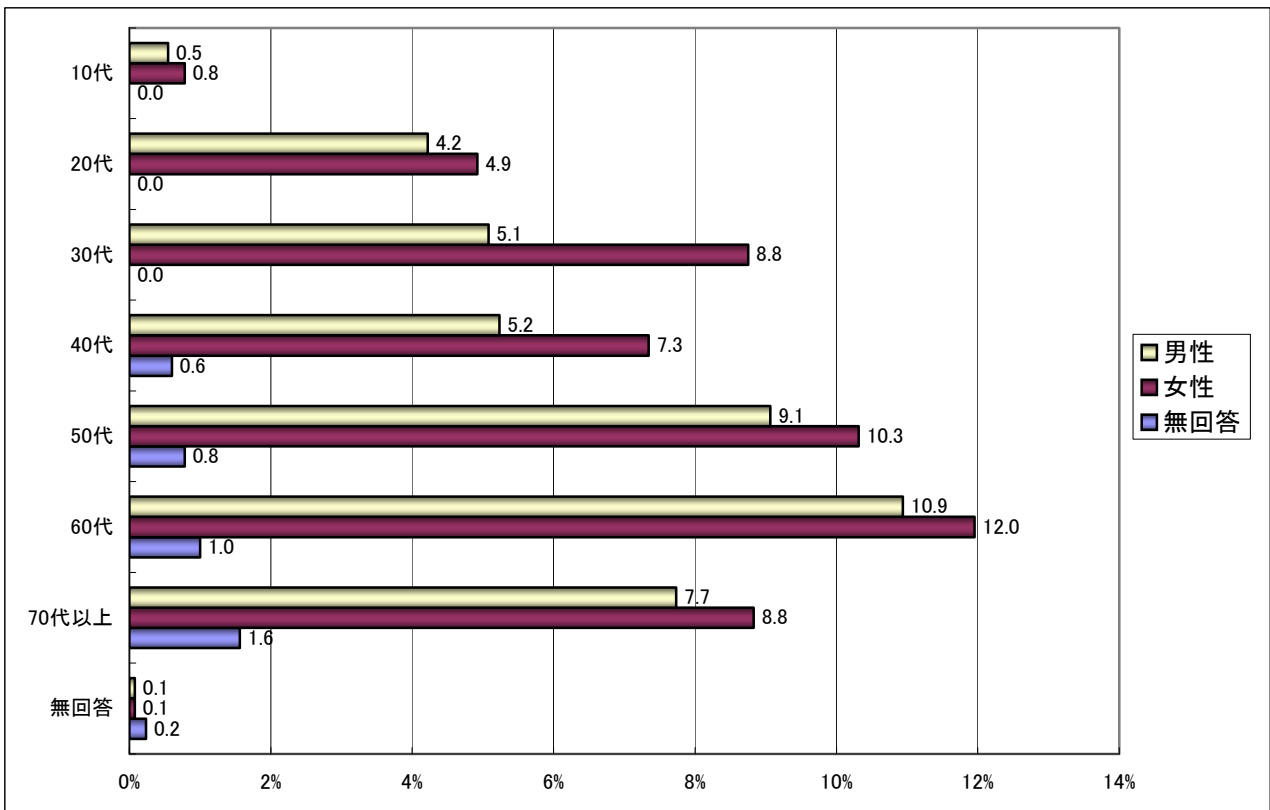
◆調査結果◆

●あなたご自身のことについてお聞きします。

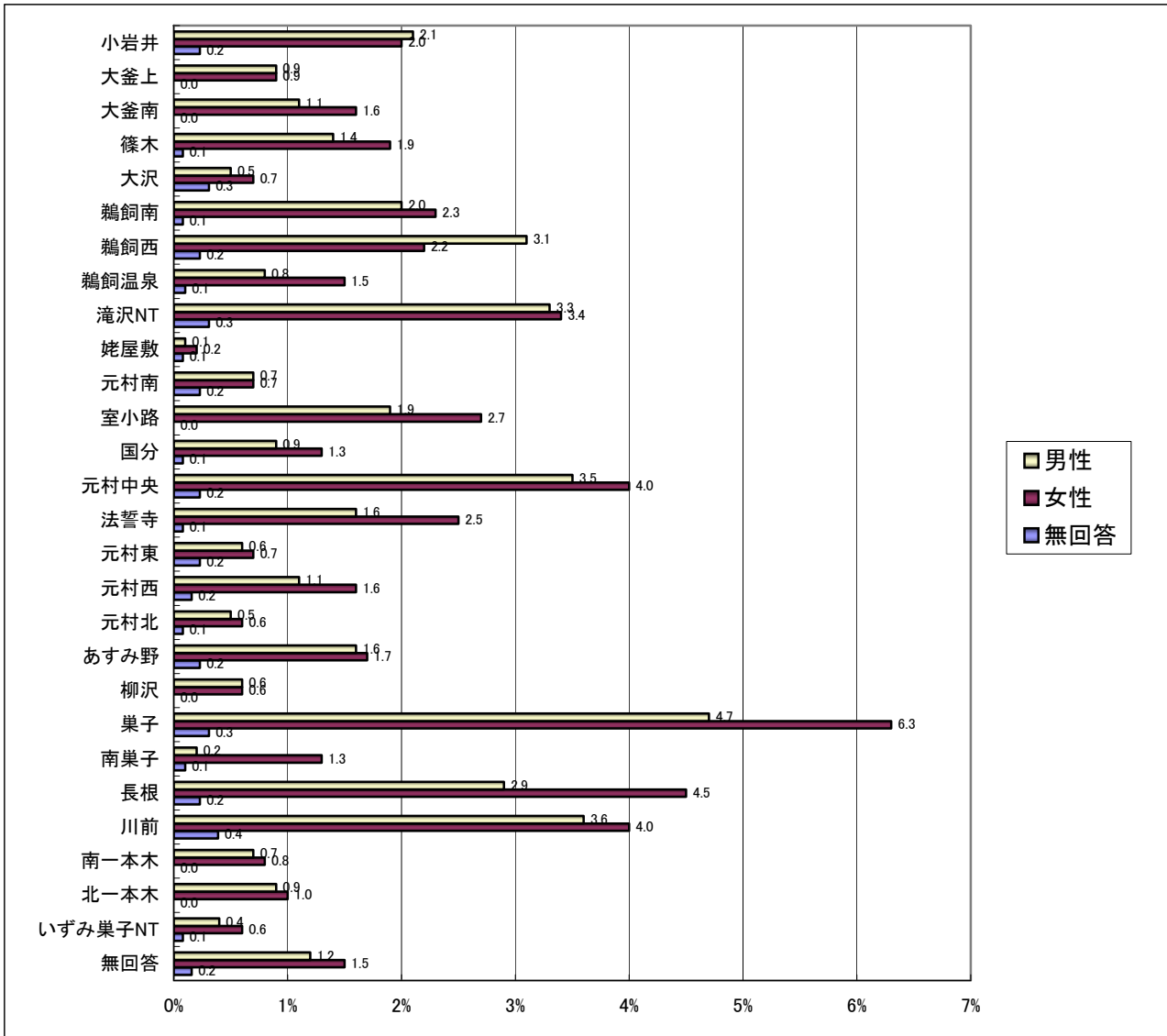
(問1) あなたの性別を教えてください。



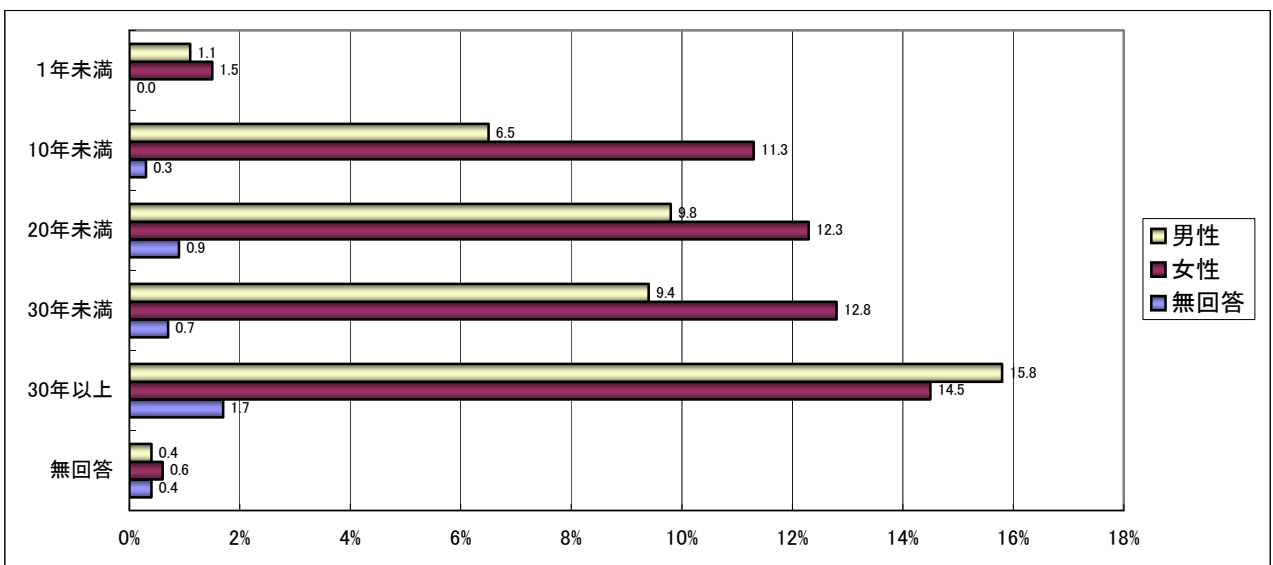
(問2) あなたの年代を教えてください。



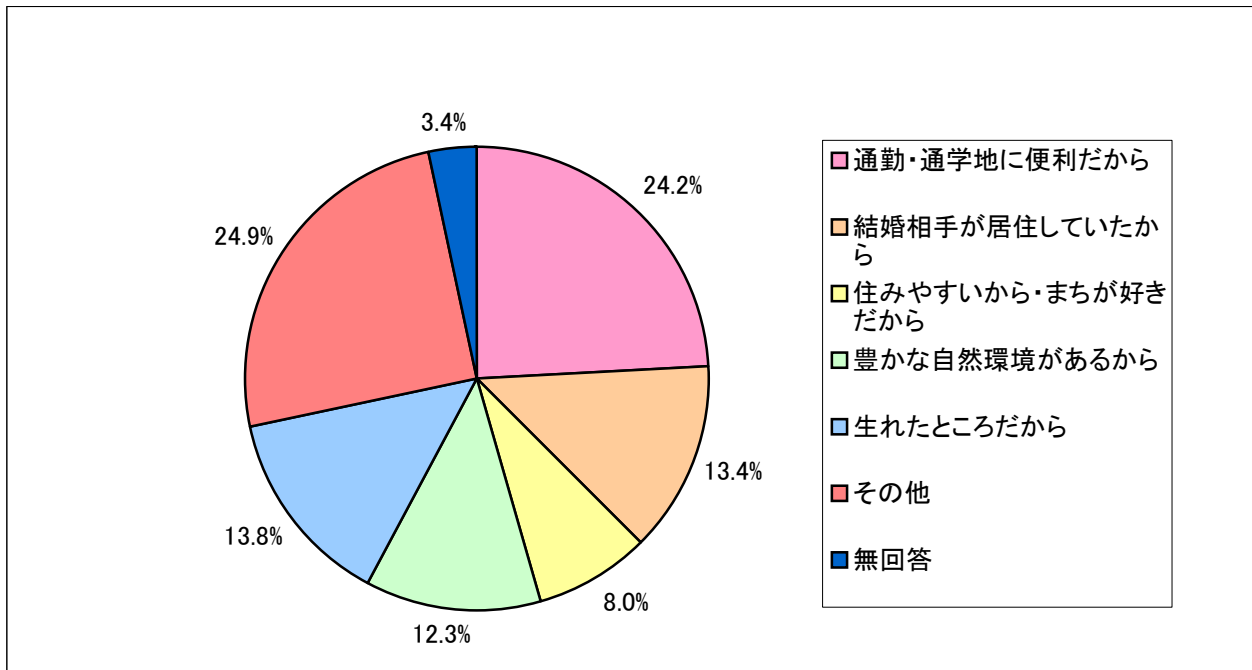
(問3) あなたのお住まいの自治会はどちらですか。



(問4) あなたは滝沢村に住んでどのくらいになりますか。

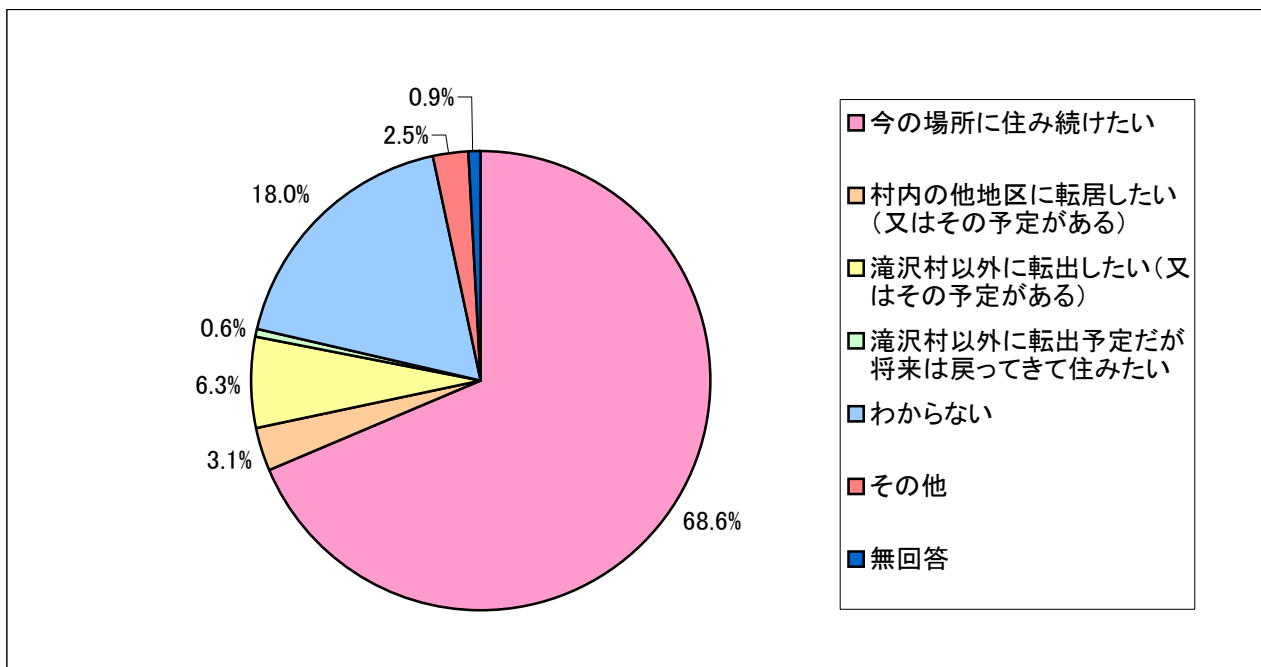


(問5) 滝沢村に住むこととなったきっかけはなんですか。



※全体集計では、回答の24.2%が「通勤・通学地に便利だから」であり、地理的条件の良さがうかがえます。また、「その他」には「実家があるから」「両親が土地を持っていたから」など、数世代に渡って村と関わりを持っている方が多い結果となりました。

(問6) これからも滝沢村に住み続けたいですか。

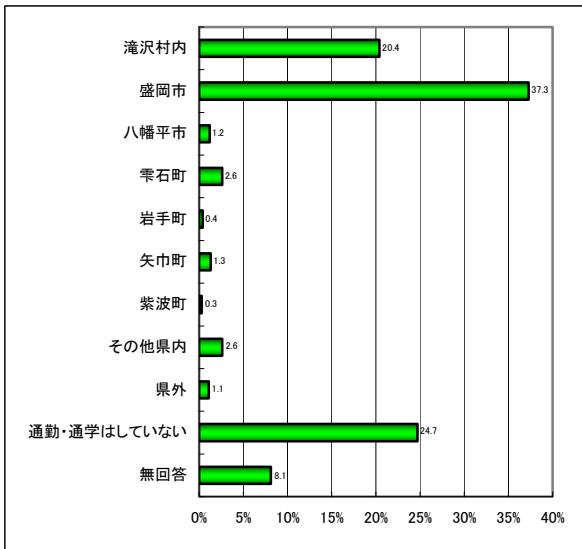


※全体集計では、回答の72.3%が「今の場所に住み続けたい」「村内の他地区に転居したい (又はその予定がある)」「滝沢村以外に転出予定だが将来は戻ってきて住みたい」であり、滝沢村に住みやすさを感じている人が多いことがうかがえます。

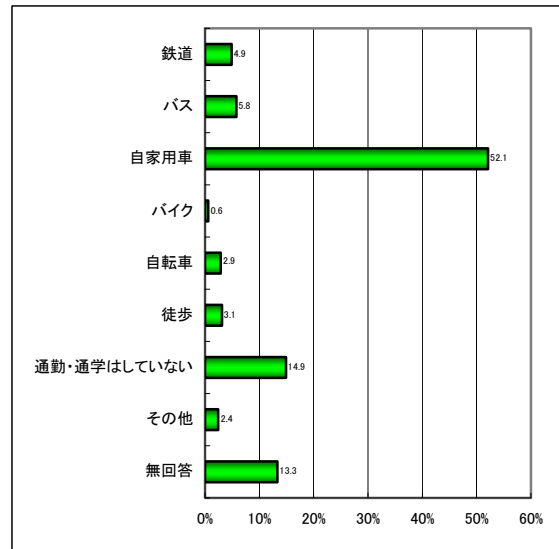
●あなたの普段の生活についてお聞きします。

(問7) あなたの勤務先・通学先はどちらですか。また、その時に利用する主な交通手段は何ですか。

【行き先】



【交通手段】



※勤務先・通学先は、「盛岡市」が37.3%、「滝沢村」が20.4%となっています。このことから、盛岡市に隣接しているという特徴が現れています。

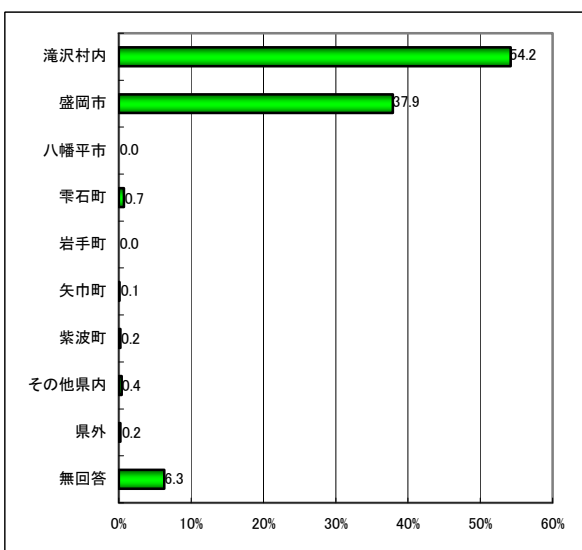
※交通手段は、「自家用車」が半数以上を占めており、公共交通機関の利用の低さが現れています。

●あなたの普段の生活についてお聞きします。

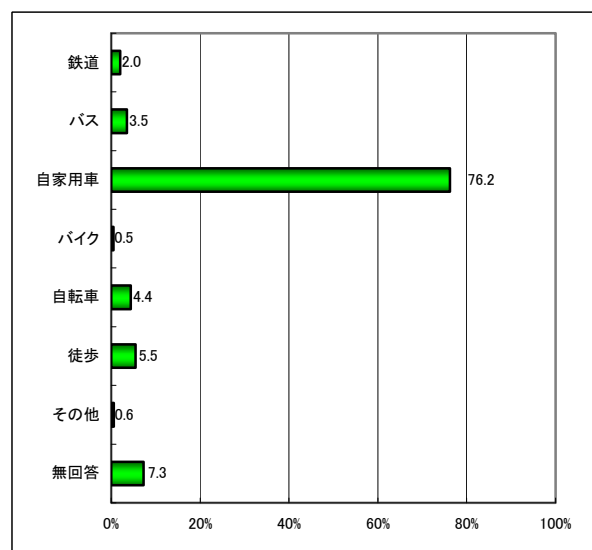
(問8) 普段の生活で、次の(ア)から(オ)に示すような活動をするとき、あなたは主にどこに行きますか。また、その時に利用する主な交通手段は何ですか。

(ア) 食料品や日用雑貨などの買い物

【行き先】



【交通手段】

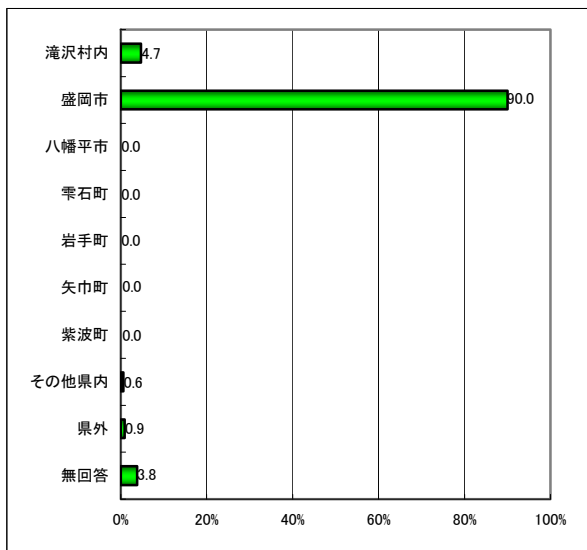


※食料品や日用雑貨など日常品の買い物は、「滝沢村」が54.2%を占めており、地域にある商店や店舗で用を済ませる傾向が見られます。

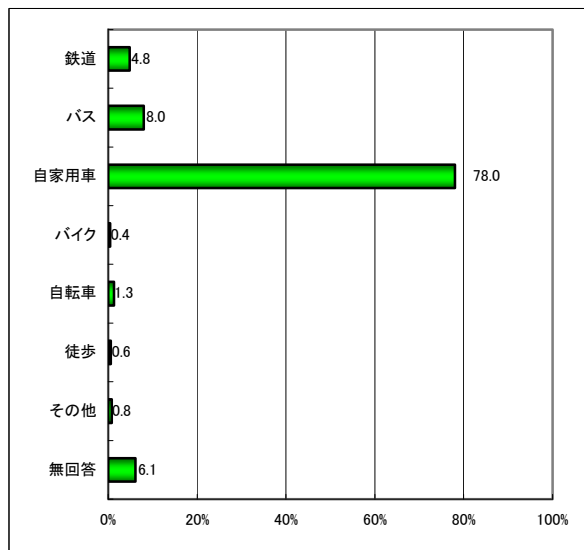
※交通手段は、「自家用車」が76.2%を占めており、公共交通機関の利用の低さが現れています。近場での買い物ということで、「自転車」「徒歩」の利用も高くなっています。

(イ) 外出着や贈答品などの買い物

【行き先】



【交通手段】

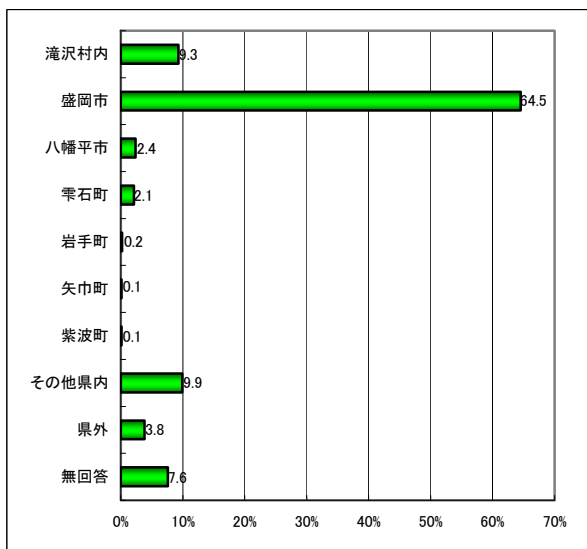


※外出着や贈答品など日用品以外の買い物は、「盛岡市」が90%を占めており、村内にはない大型店舗へ行くことがわかります。

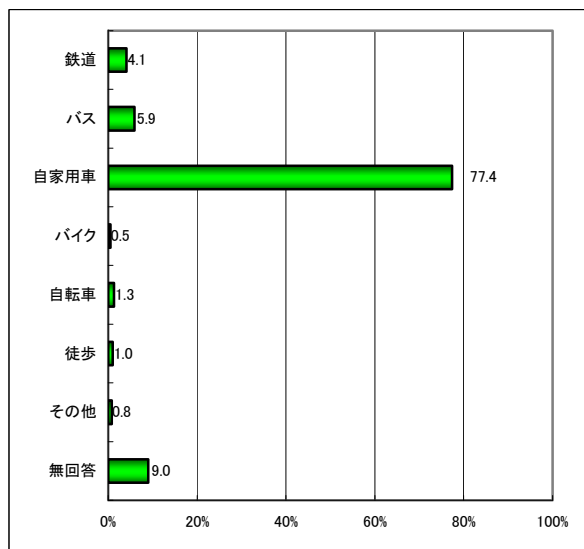
※交通手段は、「自家用車」が78%を占めており、公共交通機関の利用の低さが現れていますが、村内での日用品の買い物と比較すると、盛岡市方面へは鉄道やバスを利用する傾向が高くなっています。

(ウ) 休日の遊びや外出

【行き先】



【交通手段】

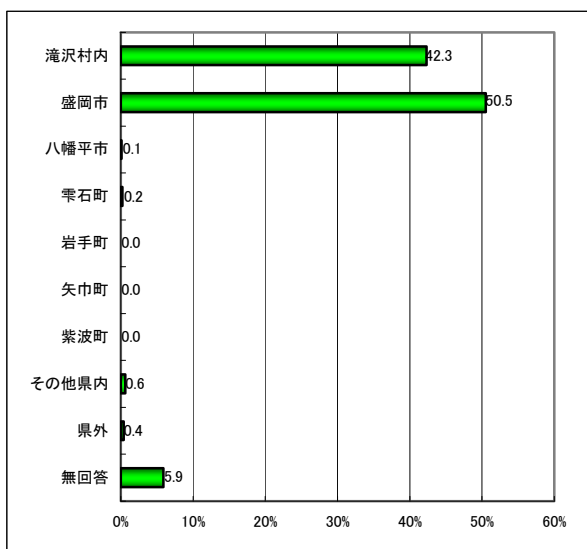


※休日の遊びや外出は、「盛岡市」が64.5%であり、さまざまなニーズに対応した場所があることがうかがえます。「滝沢村」「その他県内」がそれぞれ約10%と続きます。

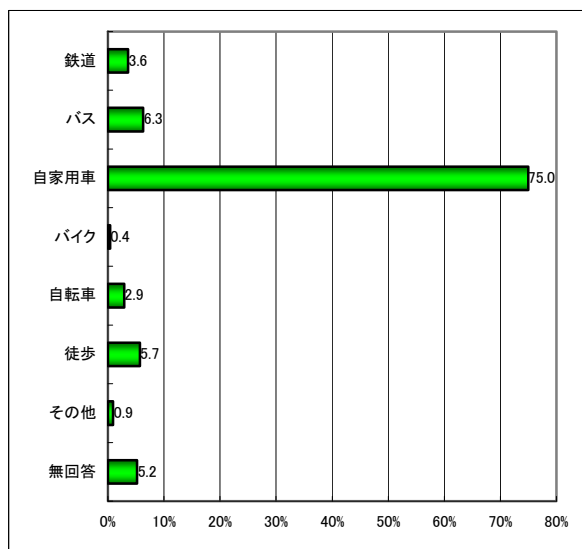
※交通手段は、「自家用車」が77.4%を占めており、公共交通機関の利用は低いものの、やはり盛岡市方面への交通手段としては鉄道やバスを利用する頻度が高くなっています。

(エ) 病院、医院など医者にかかるとき

【行き先】



【交通手段】

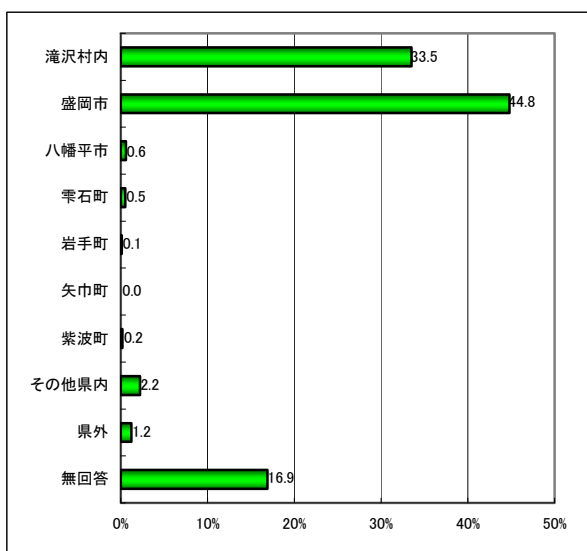


※病院、医院など医者にかかるときは、50.5%が「盛岡市」としており、地理的条件の良さと大型病院があるという結果である反面、「滝沢村」が42.3%となっており、かかりつけの病院が近場にあることがうかがえます。

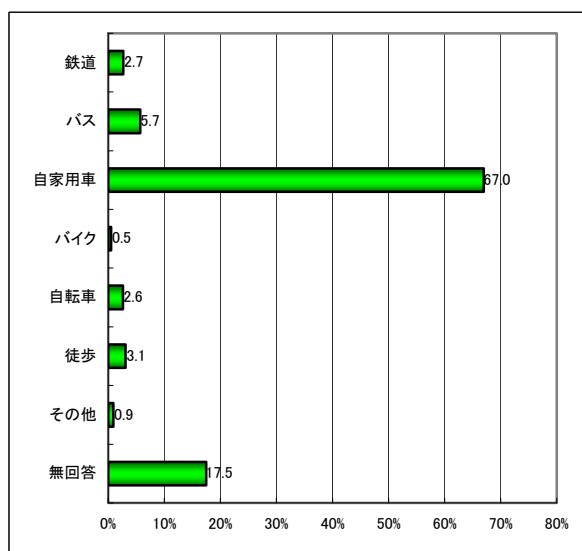
※交通手段は、「自家用車」が75%を占めており、公共交通機関の利用の低さが現れています。近場かかりつけ医院への通院ということで、「徒歩」の利用も高くなっています。

(オ) 生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事など

【行き先】



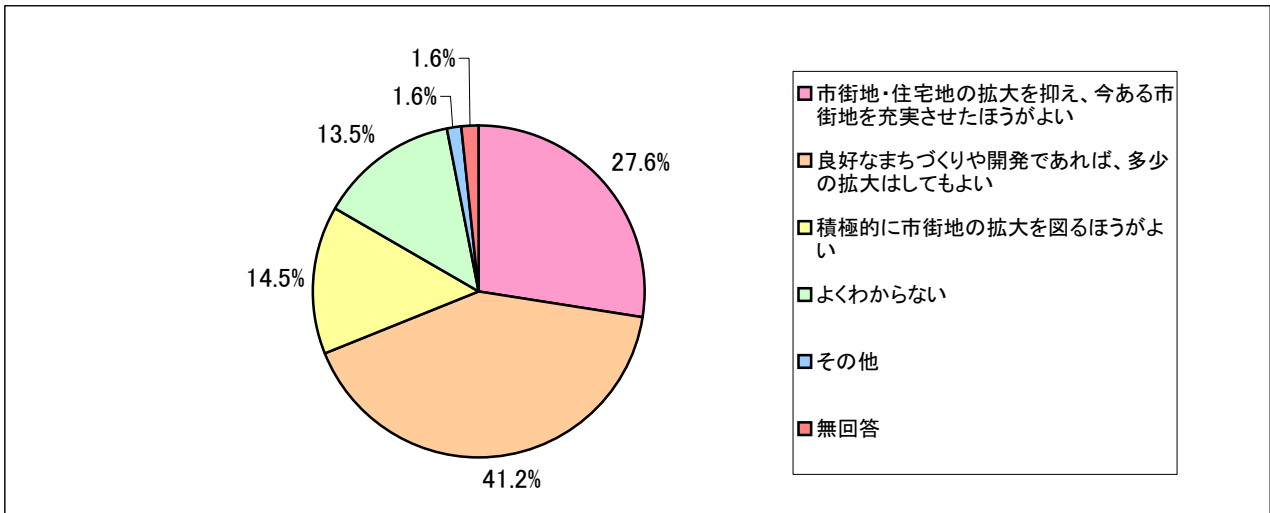
【交通手段】



※生涯学習や文化活動、スポーツ活動、習い事などは、「盛岡市」が44.8%を占めており、文化施設やスポーツ施設の多さがうかがえます。また、「滝沢村」も33.5%となっており、総合公園、公民館、ふるさと交流館での活動が盛んに行われているものと考えられます。

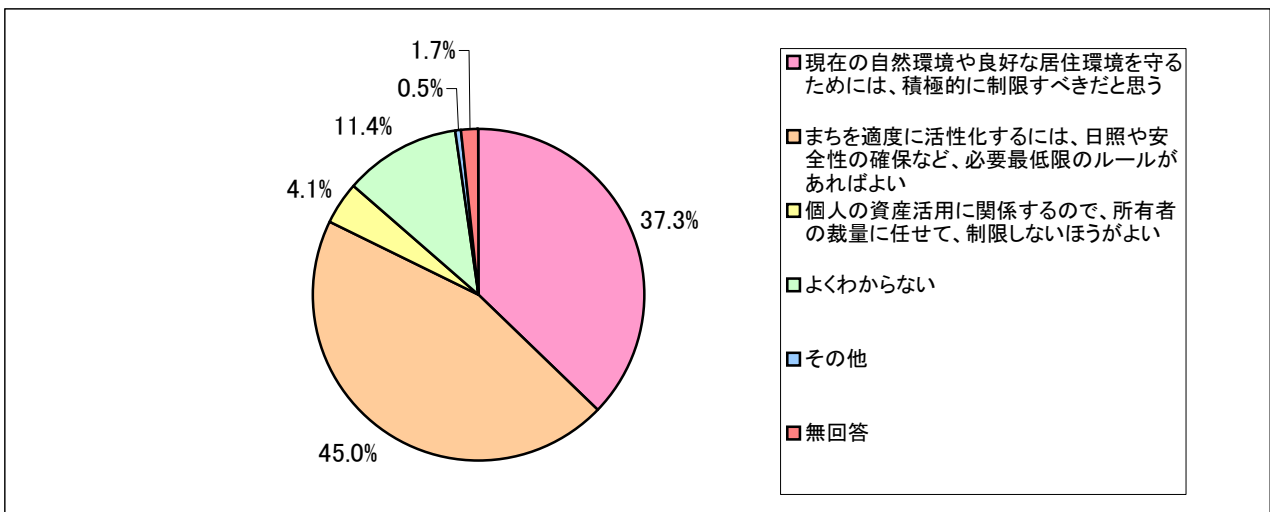
※ここでも、やはり「自家用車」が67%を占めており、公共交通機関の利用の低さが現れています。

(問9) あなたのお住まいの地区において、市街地や住宅地の拡大について、お考えに近いものとして当てはまるものはどれですか。



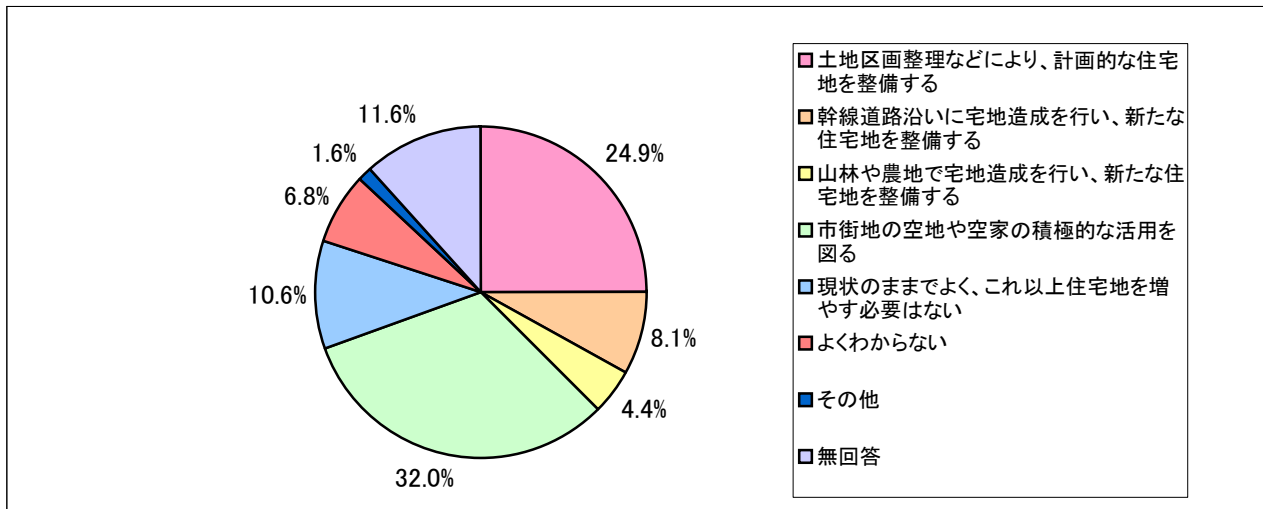
※全体集計では、41.2%が「良好なまちづくりや開発であれば、多少の拡大はしてもよい」と回答しており、「積極的に市街地の拡大を図るほうがよい」の14.5%と併せると半数以上が市街地の拡大を容認していることが判ります。反面、「市街地・住宅地の拡大を抑え、今ある市街地を充実させたほうがよい」が27.6%であり、慎重なまちづくりが求められています。

(問10) これからの滝沢村のまちづくりのことを考えた場合、農地や緑地の宅地化の制限、建設できる建物の種類（住宅、商業施設、工場など）や大きさ（土地や建物の規模）、建物の高さに対するルールを設定することについて、お考えに近いものとして当てはまるものはどれですか。



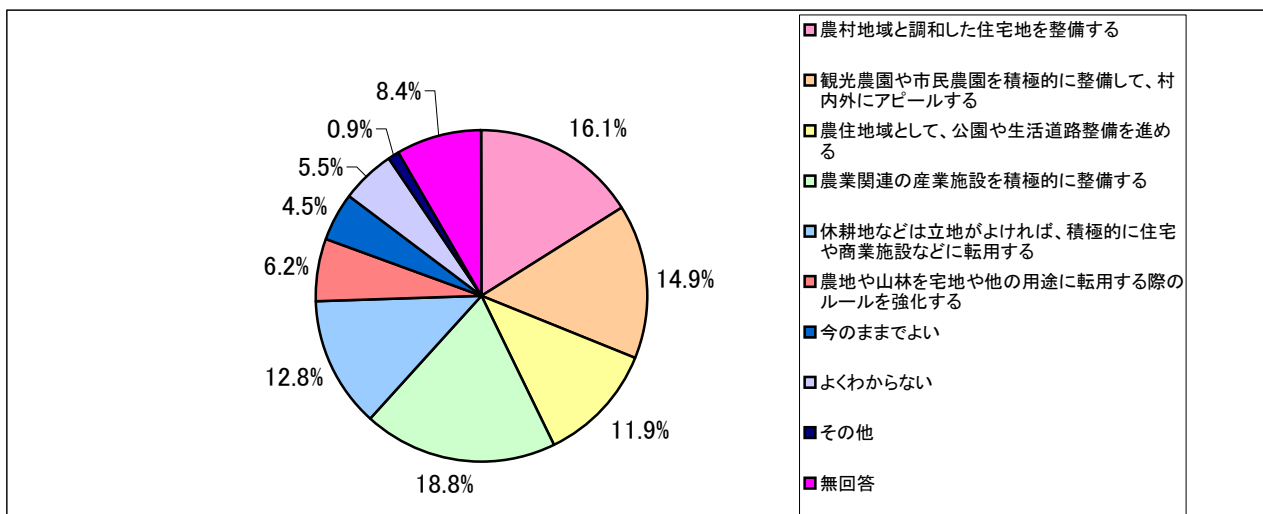
※全体集計では、回答の45%が「まちを適度に活性化するには、日照や安全性の確保など、必要最低限のルールがあればよい」と回答し、続いて「現在の自然環境や良好な居住環境を守るためには、積極的に制限すべきだと思う」が37.3%となっていることから、村内の豊かな自然環境との調和を優先的に考えていることがうかがえます。反面、「個人の資産活用に関係するので、所有者の裁量に任せて、制限しないほうがよい」は4.1%と低くなっています。

(問 1 1) 住宅地の整備・確保に関して、重要と思われることについて当てはまるものはどれですか。



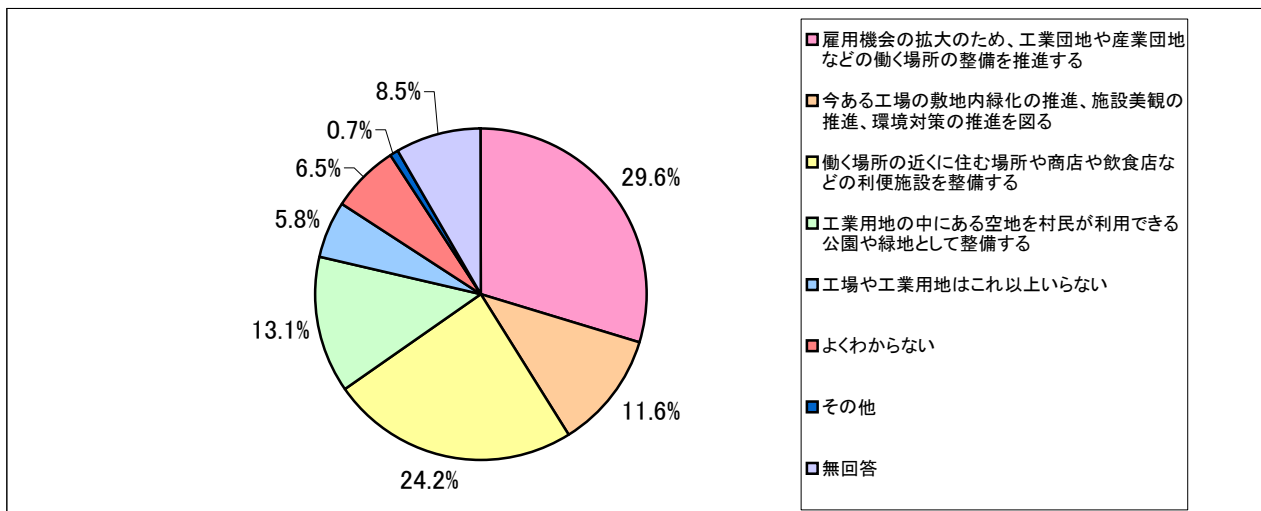
※全体集計では、「土地区画整理などにより、計画的な住宅地を整備する」「幹線沿いに宅地造成を行い、新たな住宅地を整備する」「山林や農地でも宅地造成を行い、新たな住宅地を整備する」といった新たな住宅地を整備するという回答が 37.4%であったのに対し、「市街地の空地や空家の積極的な活用を図る」「現状のままでよく、これ以上住宅地を増やす必要はない」といった住宅地の拡大を望まない回答が 42.6%となりました

(問 1 2) 農村地域や農地・山林について、重要と思われることについて当てはまるものはどれですか。



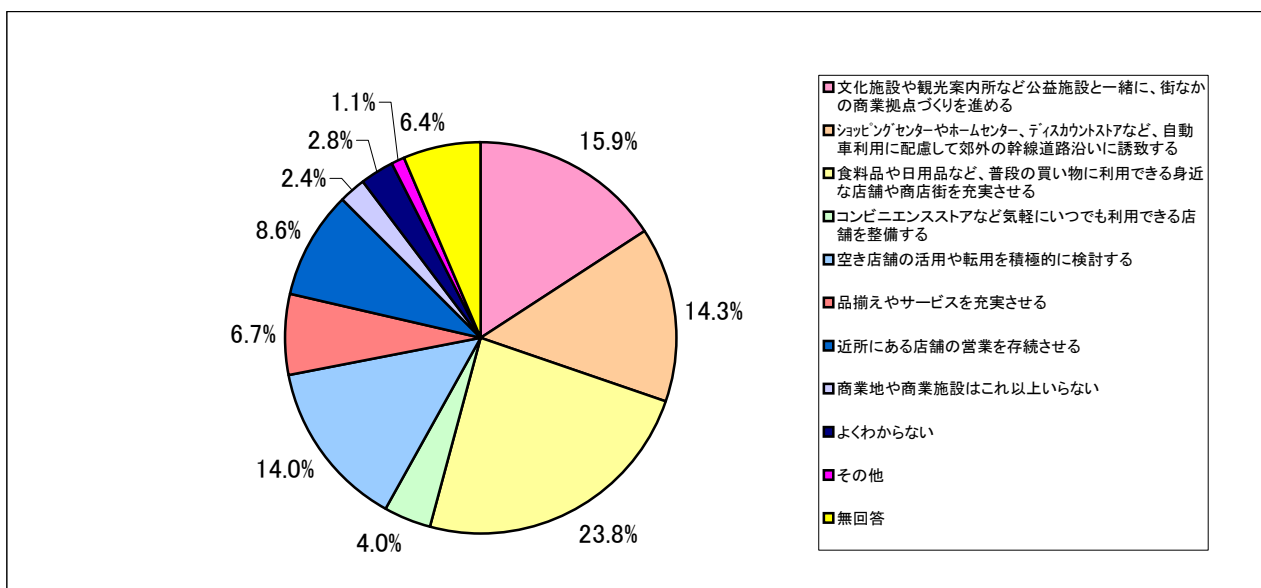
※全体集計では、「農業関連の産業施設を積極的に整備する」との回答が 18.8%と多く、次いで「農村地域と調和した住宅地を整備する」が 16.1%となっています。しかし、各回答結果に大差はなく、意見が分かれています。

(問 1 3) 工場や工業用地のあり方について、お考えに近いものとして当てはまるものはどれですか。



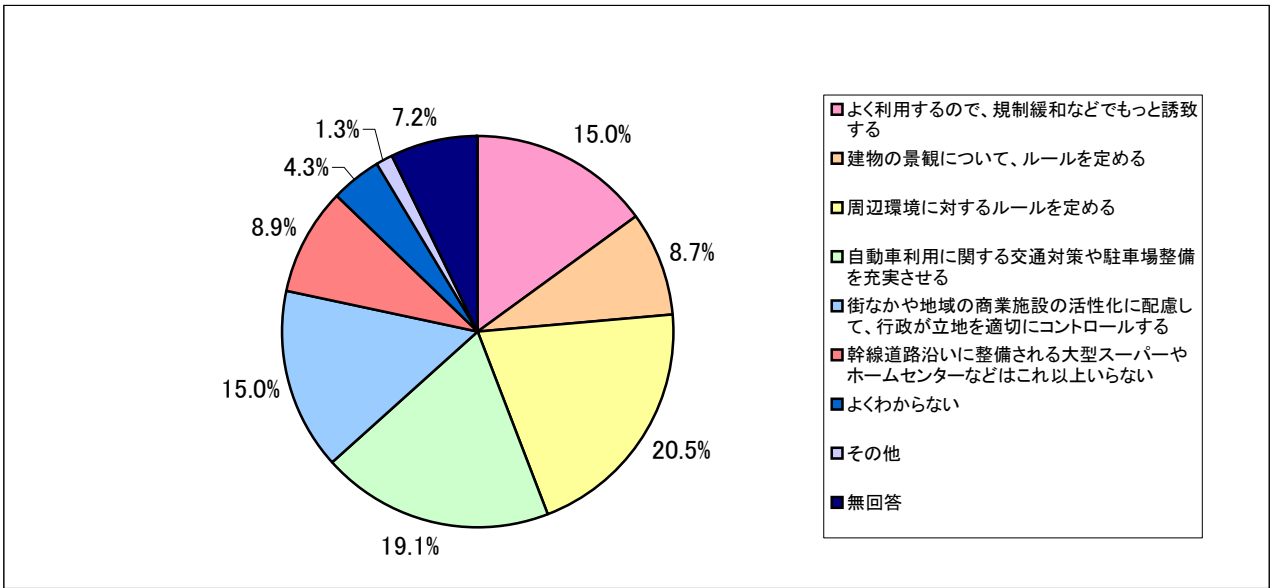
※全体集計では、回答の 29.6%が「雇用機会の拡大のため、工業団地や産業団地などの働く場所の整備を推進する」と回答しており、働く場所の拡大が望まれており、並行して「働く場所の近くに住む場所や商店や飲食店などの利便施設を整備する」との回答も 24.2%と高くなっており、働く場所と一体的な整備が望まれています。

(問 1 4) 今後の村内の商業地や商業施設のあり方について、お考えに近いものとして当てはまるものはどれですか。



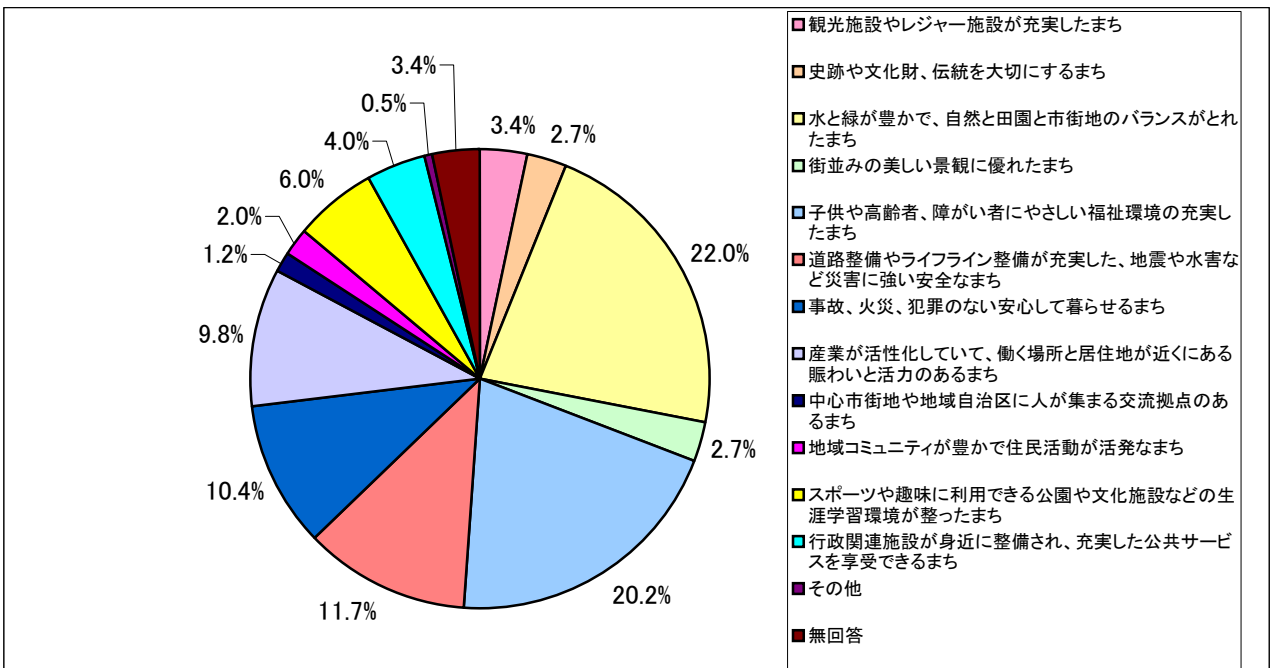
※全体集計では、「食料品や日用品など、普段の買い物に利用できる身近な店舗や商店街を充実させる」が回答の 23.8%であり、「空き店舗の活用や転用を積極的に検討する」「近所にある店舗の営業を存続させる」を含め、約半数が身近な店舗での買い物を想定した回答となっています。

(問15) 幹線沿いに整備される大型スーパーやホームセンターなどについて、お考えに近いものとして当てはまるものはどれですか。



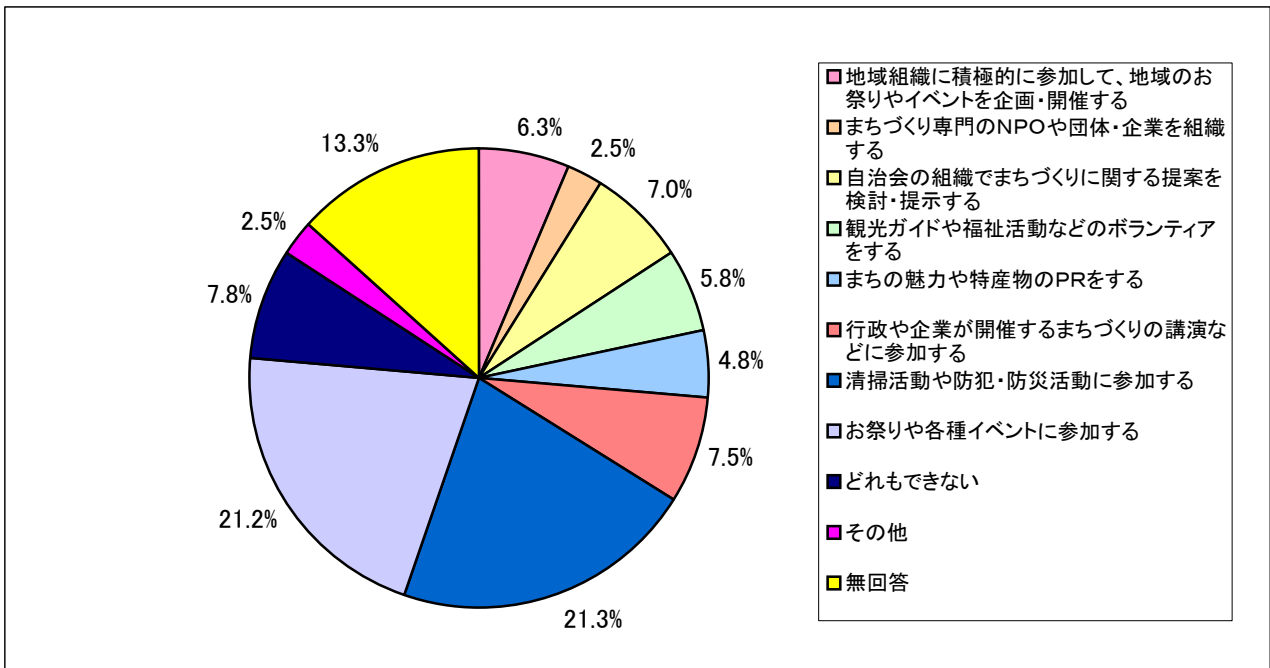
※全体集計では、「建物の景観について、ルールを定める」「周辺環境に対するルールを定める」というルール作りが約30%を占めており、景観や環境に対する配慮が必要と感じていることがうかがえます。また「自動車利用に関する交通対策や駐車場整備を充実させる」が19.1%となっており、移動手段が自家用車が主体となっていることを裏付けています。

(問16) おおむね10～20年後を想定して、どのようなまちに暮らしたいですか。最も暮らしたいまちについて当てはまるものはどれですか。



※全体集計では、「水と緑が豊かで、自然と田園と市街地のバランスがとれたまち」との回答が最も多く、豊かな自然環境との調和が望まれています。また、「子供や高齢者、障がい者にやさしい福祉環境の充実したまち」が次いで多くなっており、福祉環境への配慮が望まれています。

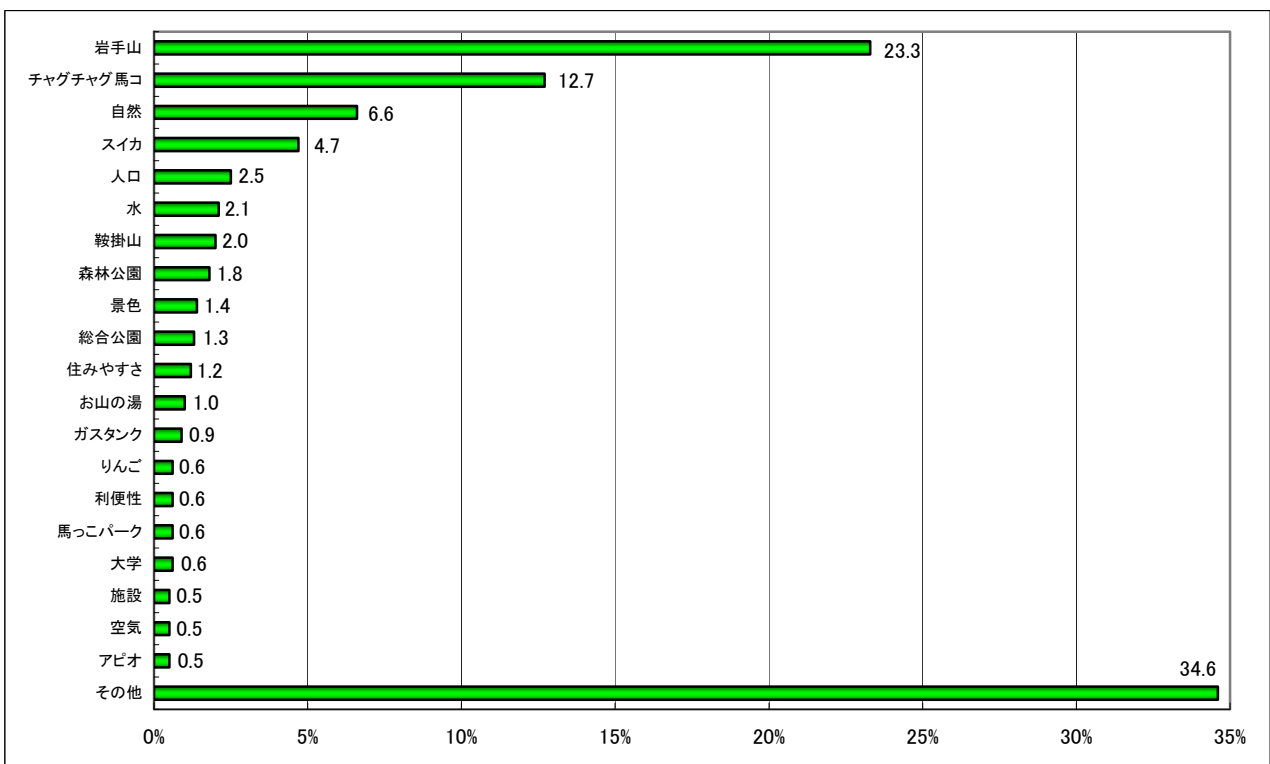
(問17) 滝沢村の都市づくり・まちづくり・地域づくりを進めるためにあなたが取り組めることについて、当てはまるものはどれですか。



※全体集計では、「清掃活動や防犯・防災活動に参加する」「お祭りや各種イベントに参加する」との回答が多く、企画・立案や運営ではなく、身近な催しへの参加が多数を占めています。

(問18) あなたが村内で“滝沢らしさ”を感じる場所、まちを象徴するものや特徴的なもの、魅力的な場所、お気に入りの施設・自然・景観など自慢できるものは何ですか。またそれを挙げる理由について、例を参考に（ ）内に、具体的にご記入下さい。

・自慢できるもの



※自慢できるものは、「岩手山」との回答が23.3%と最も多く、滝沢村のシンボルとして慣れ親しんで

いる風景となっているようです。次いで「チャグチャグ馬コ」との回答が12.7%と続き、初夏の風物詩として自慢できるものとして挙げられました。以下、「自然」が6.6%、「スイカ」が4.7%と続いています。その他としては、「産直」「農業」「果物」といった農業関連の意見、「自衛隊」「ネイチャーセンター」「清掃センター」といった施設関連の意見、「郷土芸能」「山車まつり」「田村神社」といった芸能・文化関連の意見もありました。

・**具体的な理由**（前頁の自慢できるものの上位4件の主な理由のみ抜粋）

【岩手山】

- ・生まれ育った村に帰ってきたとき、岩手山を見ると本当に滝沢村に帰ってきたんだなあと心がホッとします。
(30代男性)
- ・朝おきて、窓から毎日見ると、さあ今日も仕事がんばるぞと思わせてくれるところが好きです。(60代女性)
- ・毎日、どこからでも見られる岩手山。四季を感じ、田畑の風景の奥にある岩手山を眺めると、滝沢らしいと感じるから。滝沢村の風景が岩手山で生き生きして見える。(40代男性)
- ・春の雪どけの時、夏の青々している時、秋の夕焼けの時、冬の真っ白な時、雨で雲にかくれて見えない時、朝もやの時 etc・・・などどんな時も壮大にそびえ立つ岩手山が好きだからです。(20代女性)
- ・田んぼと岩手山、新幹線と岩手山、いろいろな景色を見ることができる。(40代女性)

【チャグチャグ馬コ】

- ・馬を大事にしてきた素晴らしい文化だから、全国に誉れる行事だと思う。(50代男性)
- ・馬の立ち姿が美しい、鈴の音もやさしい。(40代女性)
- ・参加する人や、見物する人の楽しい様子が良くそれに馬っこが鈴を鳴らしながら歩く様子がなんとも云われなくらい良い。(70代以上男性)
- ・チャグチャグ馬コは、馬を尊い命として大事に思う気持ちが伝わるから。(50代女性)
- ・昔から、今日に至るまで受け継がれてきた歴史が素晴らしいと思います。全国的にも例を見ない馬っこにねぎらいのお祭りは観る人の心を豊かにし楽しませてくれるものと思います。(70代以上女性)

【自然】

- ・自然が豊かであれば空気や水もおいしく住みよい村になるから、将来、未来の子ども達の為にも守っていかなければならないと思います。(50代男性)
- ・緑が多く、保育園や学校行事で、自然にふれ合う行事等もたくさんあり、他ではなかなか経験できないと思うから。
(30代女性)
- ・家にいて四季のうつろいを、身近に感じられる環境が滝沢村の良さ！流れる水が清らかで、飲料水が美味しいのは殊れた特徴です。(60代男性)
- ・山と川と田んぼ、畑に恵まれ、日本古来の風土も感じられる環境。(40代男性)

【スイカ】

- ・滝沢スイカは甘くておいしいです。(50代女性)
- ・“滝沢すいか”と言えば誰でも知っている「美味しいすいかだよ」と言ってもらえるのが村民としてちょっと自慢です。(60代男性)
- ・夏になるとけっこう買いに行きます。スイカ畑も多くとても甘くておいしい。遠い親せきも滝沢スイカは有名らしく贈ると喜ばれます。(30代男性)
- ・夏という季節に限定されますが、甘くておいしい滝沢スイカの味はとても忘れられないものですから。(40代女性)

◆考察◆

- 滝沢村に住むこととなったきっかけは、「通勤・通学地に便利だから」が 24.2%と最も多くなり、盛岡市に隣接しているという地理的条件のよさや公共交通機関の利用率が高い地域の利便性のよさがかがえます。
- これからも滝沢村に住み続けたいかどうかでは、72.3%の人が住み続けたい、あるいは将来戻って来たいと回答しており、住みやすさを感じている結果となりました。
- 普段の生活では、食料品や日用雑貨などは滝沢村内で買い物をするという回答が多かったものの、勤務先・通学先や外出先等の他項目では、「盛岡市」へ行くという回答が多く、隣接しているという要因とともに滝沢村内に目的とする場所がないという事実も見取れます。また、交通手段としては全項目で「自家用車」が飛びぬけて高くなっており、鉄道駅があるものの地域によっては利用しておらず、滝沢村内全体を考えるとバスの便が悪いとの意見が多く寄せられました。特に車を運転出来ない高齢者が移動手段がないという意見が多く、今後更なる高齢化社会に向けての公共交通機関の見直しは課題といえます。
- 市街地や住宅地の拡大については、積極的ではないにしろ拡大してもよいという意見も合わせると、拡大を図るという意見が半数以上となる一方、今ある市街地の充実を図るとの意見も 27.6%あり、慎重なまちづくりが求められています。
- 農地や緑地の宅地化の制限、建設できる建物の種類や大きさ、建物の高さに対するルールの設定については、約半数の人が必要最低限のルールがあればよいと回答しています。また、積極的に制限すべきとの回答も 37.3%と高く、村内の豊かな自然環境との調和を考えている人が多いことがわかります。このことから、岩手山を含めた豊かな自然環境は滝沢村の特徴であり、今後も自然環境とのバランスを図るとともに、景観に配慮したまちづくりを推進する必要があります。
- 住宅地の整備・確保については、新たな住宅地を整備するという回答が 37.4%だったのに対し、市街地の空地や空家の積極的な活用やこれ以上住宅地を増やす必要はないという回答が 42.6%となりました。むやみに住宅地を整備するのではなく、今後、高齢化が進む中で、市街地の空洞化を招かないよう、空地や空家対策を講じていく必要性を感じます。
- 農村地域や農地・山林については、農業関連の産業施設の整備と回答した人が一番多く、関心の高さがうかがえます。また、休耕地などの積極的な転用との回答も多く、前述の空地対策にも関連して、今後の課題といえます。
- 工場や工業用地のあり方については、雇用機会拡大のため働く場所の整備の推進と回答した人が多くなっており、滝沢村内に働く場所を増やしてほしいという結果となり、工業・商業エリアの検討や企業誘致が必要と考えられます。
- 今後の村内の商業地や商業施設のあり方については、普段の買い物に利用できる身近な店舗や商店街の充実と回答した人が多く、高齢のため自家用車を運転しなくても買い物が出来る環境が望まれています。
- 幹線沿いに整備される大型スーパーやホームセンターなどについては、建物の景観についてルールを定めたり、周辺環境に対するルールを定めると回答した人が約3割を占め、景観や環境に対する配慮が必要だと感じている人が多くなっています。また、自動車利用に関する交通対策や駐車場整備の充実と回答した人も多く、移動手段が自家用車主体となっていることがここでもわかります。
- おおむね 10~20 年後を想定して、どのようなまちに暮らしたいかについては、自然と田園と市街地のバランスがとれたまちが最も多く、豊かな自然環境との調和が望まれています。また、子供や高齢

者、障がい者にやさしい福祉環境の充実したまちと回答した人も多く、今後の子育て環境や高齢化社会への不安とも見て取れます。福祉環境の充実も大きな課題といえます。

○滝沢村の都市づくり・まちづくり・地域づくりを進めるために取り組めることについては、清掃活動や防犯・防災活動への参加、お祭りや各種イベントへの参加が多く、身近な催しへの参加が中心となっています。また、地域組織への参加による企画・開催や自治会の組織でまちづくりに関する提案の検討・提示等の運営側への参加は少なく、特に若者の地域への参画が課題となっています。

○村内で滝沢村らしさを感じるところ、まちを象徴するものや特徴的なもの、魅力的な場所、お気に入りの施設・自然・環境など自慢できるものについては、圧倒的に「岩手山」が多く、続いて「チャグチャグ馬コ」となりました。どちらも滝沢村にとってシンボルとなっているものであり、今後もこれらの大切な地域資源をPRし、より魅力的な滝沢村としていかなければならないと感じます。